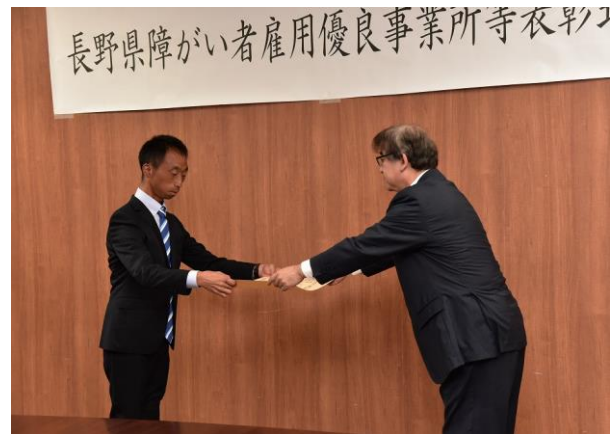


サンクゼール SCM 部製造課高橋強 「優秀勤労障がい者長野県知事表彰」を受賞しました

「久世福商店」、「St. Cousair（サンクゼール）」などの専門店を全国に150店舗展開している、食品製造小売企業（食品SPA）の株式会社サンクゼール（本社：長野県飯綱町/代表取締役社長：久世良太）のパートナー高橋強が、「平成30年度優秀勤労障がい者長野県知事表彰」を受賞しました。



（9月10日（月）に長野県庁で行われた表彰式にて。写真左、お母様と。写真右、工場長尾島と。）

長野県及び独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構長野支部では、9月の障がい者雇用支援月間にあわせて、障がい者の雇用促進と職業の安定を図るため、障がい者の積極的な雇用に努めている事業所及び、模範的職業人として長期勤務されている優秀勤労障がい者に対して、長野県知事表彰を行っており、今回後者で高橋強が表彰いたしました。

高橋強は今年で入社29年目を迎えますが、サンクゼールの役員を除く社員の中では一番長い社歴を持っています。1988年、サンクゼールが旧三水村（現飯綱町）にジャム工場を稼働させた翌々年から入社。ジャム製造やドレッシング製造を経験し、現在は主に工場から出た廃棄物の処理を行っています。サンクゼールには現在ハンディキャップを抱える方が5名勤務されていますが、彼はサンクゼールにおける障がい者雇用の先駆者。話すことができないハンディキャップを持ちながらも業務を熱心に行うだけでなく、自ら人懐っこく、明るく、コミュニケーションを取ろうとし、会社のイベントにも積極的に参加しています。表彰式は緊張の面持ちで臨んでいましたが、「嬉しかったです。これからも頑張ります。」と伝えてくれました。

ご多用中とは存じますが、ご取材賜りますように宜しくお願い申し上げます。

